

第1回 ボルダリング群馬カップ リザルト

2011年12月17日 ウォールストリートにて

男子	予選											決勝																
	1課題目		2課題目		3課題目		4課題目		5課題目		TOP	BONUS	順位	1課題目		2課題目		3課題目		4課題目		TOP	BONUS	順位				
	T	B	T	B	T	B	T	B	T	B	回数	回数		T	B	T	B	T	B	T	B	回数	回数					
千本木 洋介	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	5	8	5	5	1	1	1	4	2	2	1	/	1	3	7	4	5	1
倉上 慶大	1	1	2	1	1	1	5	3	/	1	4	9	5	7	4	2	2	4	1	1	1	/	1	3	7	4	5	2
橋本 今史	1	1	1	1	1	1	/	2	1	1	4	4	5	6	2	2	1	1	1	/	1	/	2	2	3	4	5	3
古川 慧	1	1	1	1	1	1	/	1	/	1	3	3	5	5	5	1	1	4	2	/	3	/	1	2	5	4	7	4
中嶋 拓哉	1	1	2	1	1	1	/	1	1	1	4	5	5	5	3	1	1	/	/	/	6	/	2	1	1	3	9	5
富澤 太郎	1	1	1	1	1	1	/	5	/	1	3	3	5	9	6	1	1	/	/	/	5	/	/	1	1	2	6	6
岩崎 大介	1	1	1	1	1	1	/	6	/	3	3	3	5	12	7	/	1	/	1	/	2	/	/	0	0	3	4	7
田中 比呂史	1	1	1	1	1	1	/	/	/	/	3	3	3	3	8	/	/	/	/	/	/	/	/	0	/	0	/	8
土屋 淳一	1	1	2	1	1	1	/	1	/	2	3	4	5	6	9													
白石 裕也	1	1	2	1	1	1	/	1	/	3	3	4	5	7	10													
生方 正宏	1	1	2	1	1	1	/	2	/	2	3	4	5	7	10													
清水 崇史	1	1	2	1	1	1	/	/	/	/	3	4	3	3	12													
有坂 武史	1	1	1	1	3	2	/	3	/	3	3	5	5	10	13													
堤 孔明	1	1	/	1	1	1	/	1	/	/	2	2	4	4	14													
渡辺 洋祐	1	1	/	1	1	1	/	/	/	/	2	2	3	3	15													
白石 凌	1	1	/	1	/	2	/	/	/	/	1	1	3	4	16													

※:決勝順位は、予選順位をカウントバックして決定した。

女子	予選											決勝																
	1課題目		2課題目		3課題目		4課題目		5課題目		TOP	BONUS	順位	1課題目		2課題目		3課題目		4課題目		TOP	BONUS	順位				
	T	B	T	B	T	B	T	B	T	B	回数	回数		T	B	T	B	T	B	T	B	回数	回数					
細野 かおり	1	1	/	1	1	1	/	/	/	/	2	2	3	3	1	/	/	/	/	/	/	/	/	0	/	0	/	1
横山 千晃	5	1	/	1	2	2	/	/	/	/	2	7	3	4	2													
細矢 久瑠実	1	1	/	1	/	2	/	/	/	/	1	1	3	4	3													
堤 真心	/	1	/	1	/	2	/	/	/	/	0	/	3	4	4													

※:予選、決勝とも男女同一課題で実施した。そのため、女子決勝進出者は、予選一位の選手のみで実施した。

(集計責任:赤松)

ロープなど道具を使わないフリークライミング、ボルダリングの第1回群馬カップ(県山岳連盟主催)が17日、前橋市のウォールストリート前橋で開かれた。予選を通過した男子8選手、女子1選手の計9人で行われた決勝では国体県強化選手の千本木洋介(23)＝太田市出身＝が優勝した。女子の部は細野かおり(24)＝太田市＝が制し、それぞれ初代チャンピオンに輝いた。 **関連記事 22面**

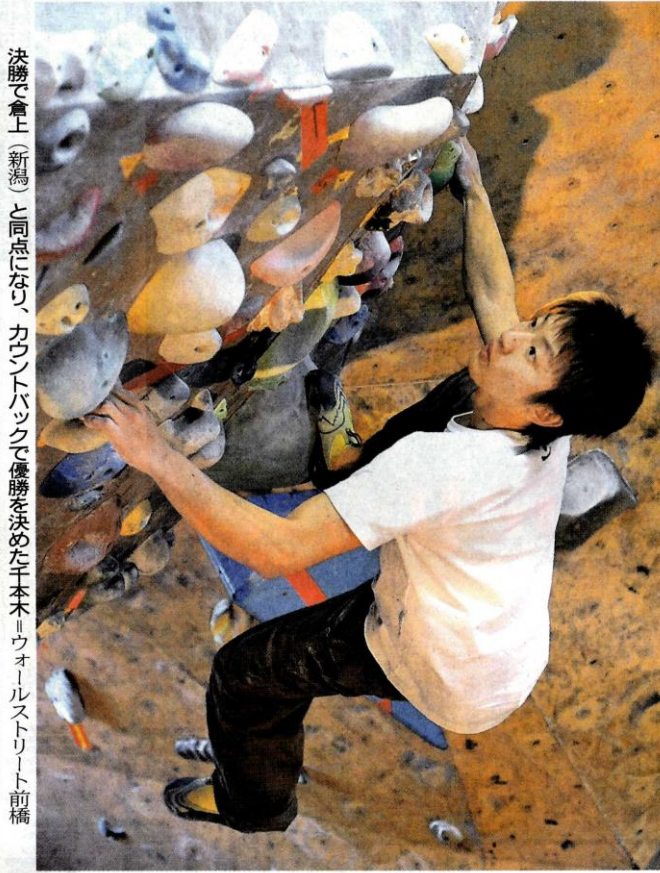
千本木 初代王座

男子

太田出身

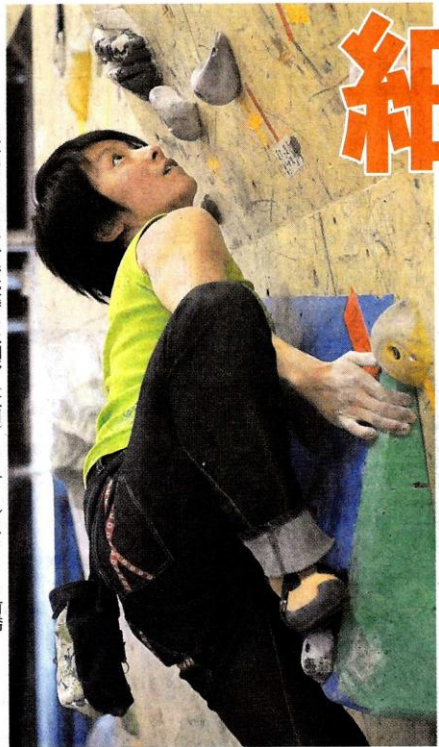
▽男子 ①千本木洋介(栃木 太田市出身) ②倉上(新潟 湯沢町出身) ③橋本(長野 宇治川町出身) ④中嶋(東京 ⑤高沢(長野 伊勢崎市出身) ⑦岩崎(埼玉) ⑧田中(館林)

予選でただ一人全課題成功
「2位の差は紙一重。勝って良かったです」。群馬カップ初代王者となった千本木洋介は、やや苦笑



決勝で倉上(新潟)と同点になり、カウントバックで優勝を決めた千本木(太田市)ウォールストリート前橋

力強いフリークライミングで優勝した細野(太田)ウォールストリート前橋



細野 初代女王

太田 笑顔満開 「うれしい」



4人で争われた女子の部は細野かおり(太田市)が力強いパフォーマンスを見せて優勝をつかんだ。

だ。ただ、女子で唯一進んだ決勝では男子の国体級という難易度の高いセッティングに苦しみ得点を挙げられず、細野は狙っていたからうれしい。でももうちょっと登れないと悔しき半分といった様子ながらも笑顔で優勝を喜んだ。ボルダリング歴はまだ4年とキャリアは浅いが、高校時代に陸上ハンマー投げで培った持ち前のパワーでめきめきと頭角を現した。昨年は栃木県大会で優勝し、今年9月からは太田市のクライミングジムの店長としてインスタラクターをしながら競技に打ち込んでいる。今年の目標は関東地方のクライミングジムが主催するシリーズ大会「BLOC2011」(全7戦)での総合優勝。現在3戦中2勝を挙げて総合トップにつけている。まだパワーに頼り過ぎるのが欠点。もっと技術を身に付けて来年のこの大会に帰ってきたいと細野。さらなる向上とともに、大会連覇を誓っていた。

争われた決勝では最終課題を攻略できず、予選4位の倉上慶大(新潟)と同点で並んだが予選上位だったために辛くも優勝を果たした。千本木の最大の武器は181センチというリーチの長さ。「国内の大会なら届かないホールド(障害物)がない」(千本木)というリーチと、身長175センチに57

キという細身の体を生かして楽々と壁を登っていく。キャリア4年ながら今年の山口国体では9位に入り、この競技の県期待の星となっている。一方課題は壁に対する攻略能力。この日も攻略シートを読み切れず、本来なら簡単な課題に思わぬ苦戦を強いられた。大会終了後には決勝で失敗した四つめの壁を他の選手の動きを参考にしながら再チャレンジすると、あっさり成功。「まだ正解のムーブ(体の動き)が思い付かない。頭が硬いな」と思わずほやく一幕も。来年2月に行われる国内最高峰の大会「ジャパンカップ」出場が決まっている。「日本トップクラスのクライマーと一緒に競技できるのが楽しみ。何とでもフアイナリストに残りたい」と意気込む。この日の優勝を弾みとするつもりだ。